

2 循環型社会の推進（自然共生部）

（1）岐阜市分別収集計画

容器包装リサイクル法の施行に伴い、容器包装廃棄物の分別収集を実施するにあたって5年を一期とする岐阜市分別収集計画(平成9年4月始期)を策定し、3年ごとに見直しを行なうこととしています。

現在の計画は、平成29年4月を始期として平成33年度末までの5年間を計画期間としています(平成28年8月に改定しました)。

容器包装リサイクル法に関する10品目の容器包装廃棄物のうち、その他プラスチック製容器包装以外(ペットボトルのキャップ、柳津地域での行政収集を除く)の9品目については、ビン・ペットボトル、カンの行政収集及び自治会や市民団体が実施する集団回収による収集体制が整っています。

ペットボトルは、平成29年度は指定法人である(財)日本容器包装リサイクル協会のルートにより1,039t(出荷重量)が再資源化されました。

白色トレイについては、現行のトレイ回収協力店による拠点回収体制の拡充に加え、平成16年10月から市による定期収集(発泡スチロールを含む)を開始しました。

（2）環境推進員

環境推進員設置要綱(平成9年制定)により、50自治会連合会毎に3~4人(計181人)の「環境推進員」を2年の任期で委嘱し、地域におけるごみ減量や資源リサイクル活動の推進など行政と地域住民とのパイプ役としての活動をお願いしています。

（3）資源分別回収

従来から市民運動として行なわれていた紙・繊維・金属など、再生できる資源の集団回収を全市域で実施するため、昭和58年度から「資源分別回収事業」として奨励制度を発足させました。

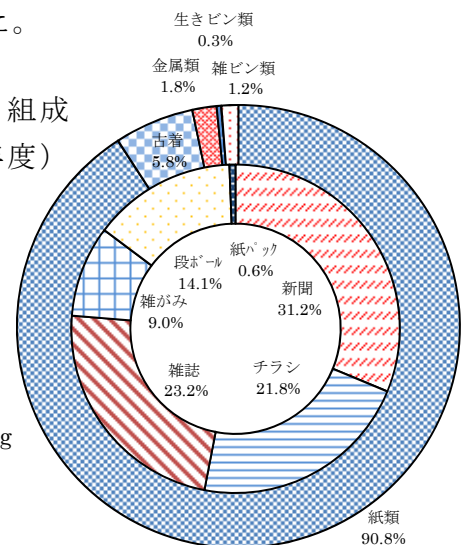
この事業は、自治会連合会を単位に原則として月1回、自治会・婦人会・PTA・子ども会・老人クラブなどの実施団体が回収を行うもので、回収品目は「紙類」・「古着」・「カン・フライパン類」・「生きビン類」・「雑ビン類」の5種類です。

平成26年度からは、自治会連合会に対し均等割額3万円と、実績割額として回収重量1kgにつき6円、雑がみは回収重量1kgにつき8円を支払っています。

また、平成24年度から自治会連合会と協力して「古紙回収用ボックス」を順次設置しています。設置した自治会連合会に対し奨励金を交付しており、平成29年度からは設置区分に応じた活動割額として1か所月額2,500円、2か所月額3,800円を支払っています。

このほか、集積場所の品目板及び実施チラシなどの物品助成も行なっています。☆平成29年度は、市内全50地区において930回実施され、回収量は7,207,265kgでした。

資源回収品目組成
(平成29年度)



総回収量：
7,207,265 kg

■平成29年度実施団体別回収内訳

実施団体		自治会	PTA	婦人会・	子ども会	各種団体	その他	合計
				女性の会				
回数		607	110	16	70	54	73	930
紙類 (kg)	新聞	1,041,900	376,420	56,210	198,370	180,990	190,220	2,044,110
	チラシ	702,880	286,920	36,040	143,770	131,840	127,220	1,428,670
	雑誌	786,893	273,930	42,720	153,500	134,720	129,000	1,520,763
	雑がみ	311,140	97,000	15,710	58,560	51,850	54,240	588,500
	段ボール	478,527	163,160	29,240	92,230	76,860	86,050	926,067
	紙パック	21,106	7,110	930	3,800	3,090	2,650	38,686
	紙類計	3,342,446	1,204,540	180,850	650,230	579,350	589,380	6,546,796
古着類 (kg)		210,310	75,620	13,250	39,470	42,510	37,710	418,870
カン・フライパン類 (kg)	アルミ	8,918	2,428	230	749	1,403	6,780	20,508
	金属屑	46,832	21,692	4,560	14,141	8,587	12,120	107,932
生き ビン類	数量(本)	12,713	3,908	679	2,813	2,968	2,985	26,066
	重量(kg)	11,637	3,636	619	2,597	2,664	2,880	24,033
雑ビン類 (kg)		49,757	13,484	2,981	8,298	6,296	8,310	89,126
合計 (kg)		3,669,900	1,321,400	202,490	715,485	640,810	657,180	7,207,265

■回収量の推移

単位 (t)

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
紙類	10,676	9,644	8,757	7,477	6,547
古着類	1,205	855	695	494	419
金属類	154	148	144	136	128
生きビン類	34	31	27	24	24
雑ビン類	122	112	107	97	89
合計	12,191	10,790	9,730	8,228	7,207

■平成29年度自治会連合会別回収実績

校区	人口 (H29.4.1現在)	実施回数 (回)	総回収量 (kg)	一回あたりの 平均回収量 (kg)	1人あたりの 平均回収量 (kg)
金華	4,844	12	186,600	15,550	38.5
京町	4,086	13	192,270	14,790	47.1
明德	3,220	12	116,660	9,722	36.2
徹明	4,462	12	147,710	12,309	33.1
白山	5,740	24	103,720	4,322	18.1
梅林	6,625	24	205,260	8,553	31.0
本郷	6,624	24	174,317	7,263	26.3
華陽	7,439	13	223,370	17,182	30.0
木之本	5,975	12	108,470	9,039	18.2
本荘	11,294	24	231,670	9,653	20.5
日野	7,646	24	127,120	5,297	16.6
長良	7,114	12	94,770	7,898	13.3
長良西	13,304	28	258,070	9,217	19.4
長良東	10,776	12	192,420	16,035	17.9
島	12,051	23	199,190	8,660	16.5
早田	9,732	24	133,512	5,563	13.7
城西	8,141	24	179,656	7,486	22.1
三里	13,703	24	190,340	7,931	13.9
鷺山	10,245	14	184,010	13,144	18.0
加納東	7,203	24	216,520	9,022	30.1
加納西	7,580	24	279,830	11,660	36.9
則武	8,842	12	151,290	12,608	17.1
常磐	6,572	12	71,560	5,963	10.9
長森南	14,195	24	186,960	7,790	13.2
長森北	6,491	24	104,905	4,371	16.2
長森西	8,434	12	125,370	10,448	14.9
長森東	7,329	24	162,240	6,760	22.1
木田	3,016	23	69,482	3,021	23.0
岩野田	7,478	12	131,005	10,917	17.5
岩野田北	7,947	24	133,550	5,565	16.8
黒野	11,531	12	156,220	13,018	13.5
方県	2,592	12	64,334	5,361	24.8
茜部	12,935	24	116,840	4,868	9.0
鶉	11,684	12	77,730	6,478	6.7
西郷	8,768	24	86,440	3,602	9.9
七郷	11,067	24	145,283	6,053	13.1
市橋	14,036	11	103,130	9,375	7.3
岩	4,876	12	96,360	8,030	19.8
鏡島	12,814	12	217,300	18,108	17.0
厚見	13,597	22	201,815	9,173	14.8
日置江	4,580	24	96,056	4,002	21.0
芥見	7,848	26	152,910	5,881	19.5
芥見東	6,047	26	149,010	5,731	24.6
芥見南	3,178	24	63,450	2,644	20.0
藍川	6,383	23	154,990	6,739	24.3
合渡	6,364	24	79,810	3,325	12.5
三輪南	9,213	13	183,360	14,105	19.9
三輪北	2,615	6	68,470	11,412	26.2
網代	2,054	5	46,040	9,208	22.4
柳津町	13,070	24	65,870	2,745	5.0
合計	403,360	930	7,207,265	7,750	17.9

(4) 生ごみの減量

①生ごみ有機肥料化促進補助(ボカシ)

「ボカシ」とは米ぬか、もみ殻、魚粉、糖蜜等に有効微生物群を混和して乾燥した資材で、生ごみを発酵させ、堆肥化します。

生ごみ有機肥料化促進補助制度は、「ボカシ」を使用する者で構成する登録団体に対して、ボカシ100gにつき20円、ボカシ処理容器1個につき購入価格の2分の1の額(ただし、900円を限度)の補助金を交付します。☆平成29年度は登録団体が購入したボカシ1,141,500g、処理容器30個に対し243,300円の補助金を交付しました。

ボカシの利用による減量効果としては、190世帯が利用し約29t(1世帯あたりの生ごみ排出量を150kg/年として計算)の生ごみが減量されたものと推定されます。

ボカシ等補助実績

年 度 (補助金額)	ボカシ購入実績 (g)	ボカシ処理容器 (個)	補助金額 (円)
平成21年度	4,223,000	112	905,089
平成22年度	3,389,000	78	718,637
平成23年度	2,961,500	96	636,630
平成24年度	2,978,000	62	626,100
平成25年度	2,636,500	52	551,800
平成26年度	2,092,500	27	431,300
平成27年度	1,778,500	12	364,500
平成28年度	1,428,500	22	303,600
平成29年度	1,141,500	30	243,300

②電気式家庭用生ごみ処理機購入補助

「電気式家庭用生ごみ処理機」には生ごみを温風乾燥させ減容する温風乾燥方式と、微生物や培養機材を用いて生ごみを分解する分解方式があります。

補助制度は、処理機を自ら購入する市民で、適切かつ安全に使用及び管理ができ、処理物を環境衛生上支障がないように自家処理できる人に対し、購入金額の2分の1(ただし、20,000円を限度)を補助する制度です。

なお、この補助制度は、補助台数が減少傾向にあるなど、一定の周知は図られたと推定されるため、平成18年度をもって終了しました。

また、補助金受給者の利用実態を調査したところ(平成22年度)、約4割の方が処理機を継続して利用していることがわかりました。このことから、電気式家庭用生ごみ処理機による減量効果として、約1,800世帯が利用し、約270t(1世帯あたりの生ごみ排出量を150kg/年として計算)の生ごみが減量されていると推定されます。

生ごみ処理機購入補助実績

年 度	補助台数 (基)	補助金額 (円)
平成10年度	411	11,276,580
平成11年度	802	21,172,840
平成12年度	1,369	27,268,680
平成13年度	641	12,718,870
平成14年度	301	5,915,810
平成15年度	244	4,799,080
平成16年度	210	4,151,600
平成17年度	202	3,977,480
平成18年度	284	5,581,830
合 計	4,464	96,862,770

③ダンボールコンポスト講座

ダンボールコンポストは、ダンボールの中に入れた基材で生ごみを分解して堆肥化するもので「臭いが比較的少ない」、「出来る堆肥の量が少なく利用先に困らない」ことが特徴です。こ

れまで、家庭での生ごみの資源化が難しいとされている集合住宅などでも手軽に実施できるため、市民団体と協力して講座を開催し積極的に啓発しています。

☆平成29年度は47回導入講座を開催し909名の方が参加しました。

④生ごみ堆肥化推進事業の経緯

家庭内での自己処理に加え、地域での生ごみリサイクルシステムとして新たな生ごみ堆肥化システムの構築を目指し、平成11年度から「生ごみ堆肥化調査モデル事業」に着手しました。モデル地区として加納西、京町、藍川、常磐、三輪南の5地区を選び、試験的に生ごみの収集から堆肥化を行なうもので、ボカシ・密閉容器・専用袋を使って、各家庭で一次処理(発酵)した1週間分の生ごみを集積場所の大型回収容器へ出してもらい、それを市が委託し

たNPO法人「環境浄化を進める会岐阜」が収集し、機械処理で堆肥を製造しました。

その後新たにモデル地区を追加し、既存の地区での拡大を図るとともに、生ごみを分別排出しやすい方法や、堆肥の商品価値等の調査研究の精度を更に向上させるための検証、システム構築のための項目を更に詳細検討等を行ってきました。平成14年度には、モデル事業を「生ごみ堆肥化推進事業」と名称変更して継続するとともに、堆肥化施設を掛洞プラントに移し、ごみの分別・減量を啓発しています。

☆平成29年度は、7地区1団体1,263世帯の参加により、約92tの生ごみを堆肥化しました。また、市内の農業生産法人の協力により、生ごみ堆肥を利用したお米を生産販売し、「生ごみの地域循環の確立」を目指した取り組みを行っています。

■生ごみ堆肥化推進事業実績

地区名	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	世帯数	収集量(kg)	世帯数	収集量(kg)	世帯数	収集量(kg)	世帯数	収集量(kg)	世帯数	収集量(kg)
三輪南(計)	370	29,110	369	26,100	364	24,220	354	21,535	342	19,470
太郎丸団地	51	3,740	50	3,100	50	3,045	50	2,815	51	2,765
福富団地	151	11,320	151	10,740	146	10,340	140	8,995	129	7,895
福丸団地	168	14,050	168	12,260	168	10,835	164	9,725	162	8,810
加納西	233	20,750	220	18,100	220	16,620	217	17,020	204	16,880
藍川	135	12,810	131	10,480	127	10,250	127	9,760	125	9,480
京町	266	23,500	257	21,950	255	21,030	249	18,400	239	17,830
常磐	151	9,160	152	9,120	146	9,915	140	9,580	141	8,945
芥見東	133	13,030	127	11,580	127	11,140	118	10,370	115	10,220
長良西	77	7,540	78	6,755	77	6,400	75	6,700	82	7,300
ふじの木(団体)	15	1,570	15	1,555	15	1,515	15	1,465	15	1,385
合計	1,380	117,470	1,349	117,470	1,331	105,640	1,295	94,830	1,263	91,510

(5) 事業系ごみの減量**～事業者による取り組み～****①事業系一般廃棄物減量対策**

年間ごみ処理総量の約30%を占める事業系ごみ減量のため、市内事業所に対し計画的なごみ減量と資源化の推進を指導啓発しています。

「事業用建築物における一般廃棄物の減量及び適正処理に関する指導要綱」を制定(平成11年7月)し、大規模事業所を対象とした「廃棄物管理責任者の手引き」を作成、「廃棄物管理責任者」の選任と「一般廃棄物減量計画書」の提出を義務付け、要綱に基づいた減量指導を行なっています。平成29年度における「一般廃棄物減量計画書」の提出事業所数は182件で、平成28年度資源化率(実績)は47.2%でした。

平成25年度より占用面積500㎡を超える事務所・小売店も対象に加え、平成29年度は200件の事業所に「一般廃棄物減量計画書」の提出を求めました。

また、ごみ減量・リサイクル推進事業所(G・R事業所)認定制度を運用しています。平成29年度末における認定数は13事業所です。

②ごみ減量・リサイクル推進協力店事業**～G・Rマークの店～**

平成4年度から、ごみ減量・リサイクルに自ら積極的に取り組む市内の小売店を「G・Rマークの店」として登録し、消費者に愛される環境にやさしい店づくりを広めていくことにより、市民あげてのごみ減量運動の展開追加を図ってきました。

平成9年度からは、モデル事業として「岐阜市トレイ回収協力店」、平成1

4年度には、「岐阜市リサイクル商品取扱推進店」を募集し、これらを合わせて「G・Rマークの店」として認定する制度に見直しました。この制度は、その後の「個別リサイクル法」の制定・施行や、リサイクル商品の一般化により平成20年度から「岐阜市トレイ回収協力店」のみに整理されました。

一方、平成19年度には、容器包装廃棄物等の減量や資源化等環境負荷の少ない活動を進める事業所を「エコ・アクションパートナー協定店」として市と協定を結ぶ制度を設けました。また、平成24年度から「岐阜市トレイ回収協力店」の活動をこの制度に組み込みました。

③はがきのリサイクルグリーンボックス事業

平成10年度から、郵便局と市が共同ではがき専用の回収ボックスを設置しました。回収したはがきは製紙工場で溶解処分し、再生トイレットペーパーの原料としています。

設置場所：市内各郵便局

市役所本庁舎・南庁舎
各事務所・柳津地域事務所
市ステーションプラザ(JR岐阜駅構内)
ハートフルスクエアG
柳津資源ステーション

平成29年度実績：1,820.0kg
606,700枚

④トレイ回収協力店事業

容器包装リサイクル法の対象品目である発泡スチロール製トレイについては、平成12年度から市内の食品系スーパーマーケット等に対し、自主回収を協力依頼しています。

平成29年度の協力店(52店)の報告回収量は、約60tでした。

⑤使用済みインクカートリッジ事業

インクカートリッジメーカー等が行うインクカートリッジ里帰りプロジェクトとして、専用回収ボックスを設置し、使用済みインクカートリッジを回収しています。

回収されたインクカートリッジはメーカーにおいてリサイクルされます。

(6) リサイクル推進事業**①夏休み親と子の学習会****(ごみ処理・リサイクル施設見学)**

ごみ処理やリサイクルについて親子で考える機会としてもらうため、小・中学生とその保護者を対象にごみ処理・リサイクル施設の見学会を実施しました。

実施日：平成29年8月1日

平成29年8月4日

参加者：子供27人、保護者21人

見学先：東部クリーンセンター

大杉一般廃棄物最終処分場

岐阜市リサイクルセンター

②リサイクル学習バス(ビック・アクション号)

地域が主体となってごみ減量・リサイクルの推進を図るため、ごみ処理施設などの見学会に、平成8年度から各自治会連合会にバス1台の借上料を支援し、平成29年度は4地区で実施し、123人が参加しました。

③ごみ減量・リサイクル講座

職員が、ごみ減量と資源化の状況や手法などについてのお話をします。ごみに関する理解を深めていただき、さらに積極的な取り組みをお願いしています。

☆平成29年度は、91回実施しました。

④小学生社会科副読本

小学4年生の社会科学習資料として、ごみ処理の内容をわかりやすく説明した副読本「ごみとわたしたち」(第32版、A4版、カラー刷、28ページ、4,100部)及び「教師用指導資料」(A4版、34ページ、A3版、2ページ、300部)を作成し、「ごみとわたしたち」は市内の小学4年生全員に配布しました。

⑤ごみ1/3減量大作戦子どもポスターコンクール

小・中学生から、ごみ減量・資源リサイクルをテーマにポスターを募集し、審査の結果入賞作品39点を「岐阜市まるごと環境フェア」で展示したほか、市庁舎1階市民ホールでも展示を行いました。

また、優秀作品をもとに啓発ポスターを作成し、市内小・中学校等公共施設に掲示しました。

⑥ごみ1/3減量活動支援

地域が主体となって取り組むごみ減量・資源リサイクル活動に対し、啓発用物品を貸与するなどの支援をしました。

⑦岐阜市まるごと環境フェアの開催

「環境と調和する、人にやさしい都市岐阜」の創造に向け、全ての市民が「ぎふの環境」への思いを新たにし、一人ひとりが、人と自然が共生するまちづくりへの行動を始める契機とするため、市民参加型の環境啓発イベント「第16回岐阜市まるごと環境フェア」を開催しました。

開催日：平成29年10月28日・

11月3日・11日・18日

場 所：みんなの森ぎふメディアコス
モス、JR岐阜駅南口駅前広
場、ハートフルスクエアG

来場及び参加人数：約9,130人